



株主のみなさまへ 第152期

# 通 期 株 主 通 信

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

証券コード4461 **第一工業製薬株式会社**





## 5カ年経営計画 「REACT1000」の達成に向け、 特性をさらに伸ばし、 「こたえる、化学」を重ねて 実行してまいります。

代表取締役  
会長 兼 社長 **坂本隆司**

社は「産業を通じて、国家・社会に貢献する」  
社訓 「品質第一」「原価逡減」「研究努力」

### Q1 通期の経営概況と主な取り組みを お聞かせください

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。「飛躍への行動を」副題にした5カ年経営計画「REACT1000」を平成27年の4月1日からスタートさせました。売上高と総資産の1000億円、株価の1000円をめざしてREACT、行動を繰り返し行う計画としています。その初年度を振り返りご報告させていただきます。この1年に日本経済は、緩やかな回復基調に変化が現れ、海外の懸念材料による景気の押し下げ

リスクが論議されるようになってきました。化学業界に目を向けますと、多くの製品の基本原料となるナフサの低価格も下げ止まりから反転に向かう状況です。中東情勢の混迷や資源国・新興国の経済に陰りが見え始めるなど、先行きの不透明感が増しています。このような環境下において、当社グループの業績は前年に比べて売上は減収、利益は増額となりました。連結売上高は527億82百万円(前年同期比5.1%減)で、残念ながら掲げた目標の数字には届きませんでした。二つの要因があります。海外の提携先の生産工場ですトライキが起り、難燃剤の輸入が困難になったこと。そして、伸長を見込んでいた太陽電池分野が不振で導電性ペーストの国内需要が



飛躍への行動を

減少したことです。一方で、営業利益は34億39百万円(前年同期比16.8%増)となり過去最高を記録しました。ネクストと呼んでいる周辺事業の開発が実り、IT・電子用途の高付加価値品の売上げが伸長したこと、原材料価格が低価格で推移したことが主な要因です。経常利益は32億円(前年同期比17.8%増)、当期純利益は21億98百万円(前年同期比23.4%増)でした。利益項目の全てが2期連続して最高益を更新したことになります。

力を入れた主な取り組みは、3つあります。一つは、5年計画の数値目標である売上高750億円ほかを達成するための組織強化です。事業部制は維持しながら、予算の遂行責任を明確にしました。国内関係会社事業部、海外関係会社事業部、レオクリスタ事業部を新設しました。プロフィットセンターの役割を与えた業務センターが事業本部に入ります。二つ目は、四日市の霞地区に新しい工場を作り稼働させたことです。電子材料分野とリニア新幹線工事に使われる土木用薬剤の生産体制を整えました。また、シンガポールに現地法人を設立しました。3つ目は、加点方式による管理職の評価体系を取り入れたことです。挑戦する人材の意欲に応える制度としました。体制という「天」、工場および海外拠点という「地」、そして、評価制度という「人」、経営の天地人を整備しました。

### Q2 5カ年経営計画「REACT1000」の 進捗をどのように評価されますか

5年間の経営計画を進める羅針盤を、「REACTマトリクス」

と名づけています。繰り返し行動する「1000」計画の針路を設けたものです。Return(還元)、Export(海外)、Advance(前進)、Create(創出)、Train(育成)の5項目です。この5つのベクトルを縦軸に、社員、株主、顧客、社会の4つのステークホルダーを横軸にした行動要領としました。5つのベクトルを4つの対象に向けて働きかけますので合計20項目となっています。

社外役員を交えた取締役会や経営会議の議案書の内容を「REACTマトリクス」で分類し、チェックできるようにしています。3つほど取り上げて取り組み例を示します。社員/リターンは「貢献への適正評価」、株主/トレインは「社外役員会議」、顧客/アドバンスは「ドリーム100X6(異業種企業との連携)。これらを含む20項目の約90%は、初年度に着手しました。定性的な行動要領の実施によって、定量的な5カ年目標を実現する土台は築けたと思っています。

物を作り販売して業績を上げる土台は、総資産です。貸借対照表、バランスシートに資産の中身が表示されます。右側がお金の工面の仕方、工面したお金で物になっている項目が左側に記載されます。当社の総資産は、この10年間に400億円から660億円に増えました。四日市合成の買収、新工場用地の確保、設備投資の実施の結果です。通常は、その資産を使ってほぼ同じ金額の年間売上高が可能となります。つまり、660億円以上の売上を計上できる基礎を築けたことも初年度の成果と申し上げます。

### Q3 次期の方針についてお聞かせください

何よりも、初年度に目標未達成の結果となった売上高をいかに積み上げるかです。527億円で終わった売上高の目標は609億円でした。この数値を2年目に追いつながら、3年目には5年計画をキャッチアップする施策を考えることが第一です。

次に、マザー工場として平成27年7月に竣工した霞工場を本格稼働させ、次の展開を進めます。世界へ、また未来へ羽ばたく新拠点、霞工場の役割は多岐に渡ります。マーケットの動向を見ながら、設備や機能をさらに拡充させて、スマート化、考える工場を目指します。主製品と新技術を生み出すマザー工場です。「こたえる、化学」を掲げた会社として、産業のニーズに応え続ける研究開発を促進します。生産、研究・技術開発、営業の3つの機能を効率化し新しい価値を生み出す拠点到に仕上げるものです。「めざせ、ユニ・トップ」という標語を掲げました。「ユニ」の意味する“他はないユニークさ”を追求し、新たな価値創造に拍車をかけます。ユニークな特性でトップに立とう。「ユニ・トップ」に全社の決意を込めています。

「レオクリスタ事業部」を設置したのは、研究開発を推し進める意思表示です。「レオクリスタ」は植物のセルロースを原料にした新素材で、流動性を表すレオロジーと透明なクリスタルをイメージして命名しました。この素材を使った世界初の商品である実用化の一例である水性ボールペンは、平成28年5月の伊勢志摩サミット

の記者団に配布されました。化粧品分野や電池、自動車分野への利用が有望視されています。「ユニ・トップ」な製品作りの象徴となります。

そして、海外展開に力を入れます。シンガポールの新会社やインドネシア、台湾拠点から東南アジア地域の市場調査や拡販を加速する年度とします。

### Q4 株主の皆様へメッセージをお願いします

「マトリクス」に掲げました株主様とのご関係を説明いたします。R(還元)に、1000へのPER・PBRと記しました。株価収益率、純資産倍率として、収益の増強と純資産の充実を図ります。E(海外)の統合事業報告書は年次報告書として用意しています。英文も検討しています。A(前進)の赤字事業撤退は、事業ポートフォリオの内容改善策です。C(創出)割安株から成長株へとして、売上の伸長と将来テーマの追求に努めます。T(育成)の社外役員会議では、企業統治、ガバナンスの一層の浸透を心がけるものです。

企業の健全性のものさしである、安全性(自己資本の充実)、収益性(売上高営業利益率の向上)、成長性(年々の売上の安定的伸長)が企業価値増大の基本と考えています。当社グループは、これからも一丸となって「REACT1000」の施策を進め、中長期的な成長を目指します。株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成28年6月

## 5カ年経営計画「REACT1000」を 確実に軌道に乗せ、 京都から、世界へ未来への 飛躍をめざします。



飛躍への行動を

2020年3月期目標

売上高 **750** 億円    営業利益率 **8.0** %    純利益 **36** 億円    ROE **10** %    海外売上比率 **20** %

「REACT1000、AND100×6」の行動要領	社員	株主	顧客	社会
R (RETURN) (還元)	貢献への適正評価	1000へのPER・PBR	アクティブ・パートナー	経済の好循環
E (EXPORT) (海外)	海外比率の向上	統合事業報告書	マーケット開発	マザー工場
A (ADVANCE) (前進)	アクチャル100×6	赤字事業撤退	ドリーム100×6	ブランド
C (CREATE) (創出)	ネクスト100×6	割安株から成長株へ	特命外交	地方創生
T (TRAIN) (育成)	人材鍛錬	社外役員会議	IT販促	出前授業

### 5カ年経営計画「REACT1000」初年度を終えての課題

課題1 売上高 **750** 億円 達成のために

売上拡大の  
取り組みを加速

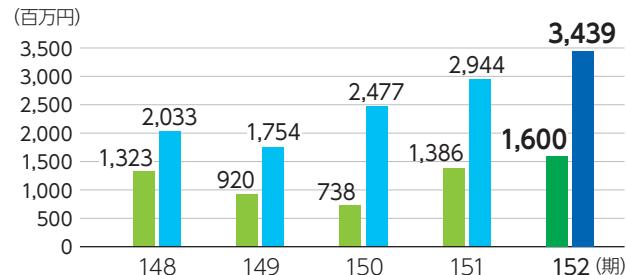
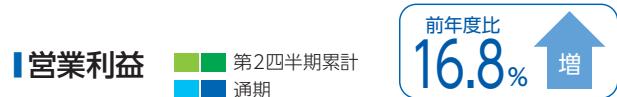
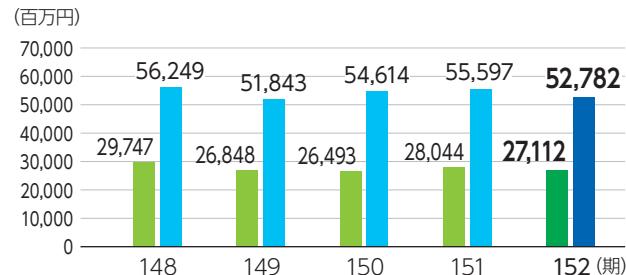
課題2 全社的な  
生産性の向上  
のために

霞工場の  
マザー工場化を  
加速・充実

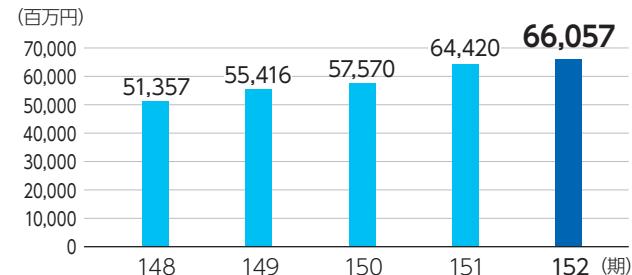
課題3 海外売上比率  
**20%**以上  
のために

シンガポールの  
新会社を起点に  
国際展開を実施

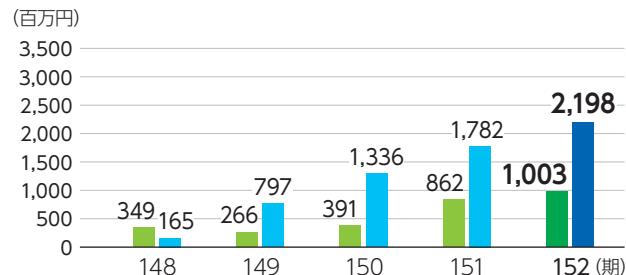
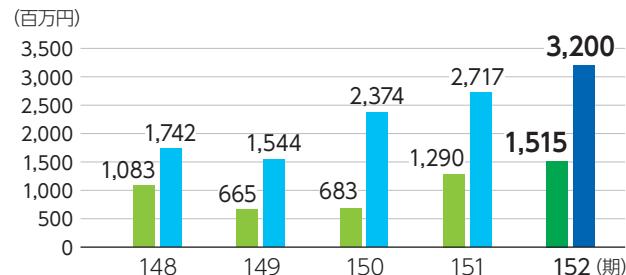
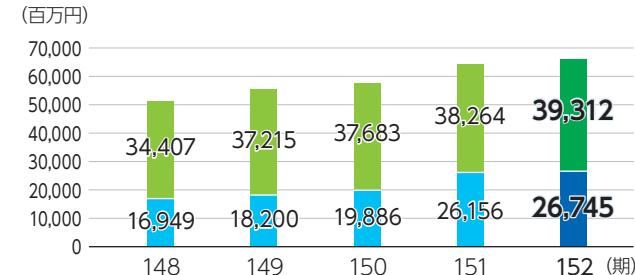
# 財務データ (連結)



## 総資産



## 負債及び純資産



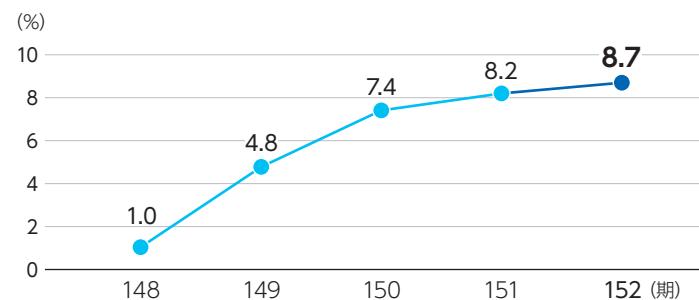
## POINT ▼

**資産:** 資産は第151期末と比べ16億37百万円増加し、660億57百万円となりました。その主な要因は、台湾の連結子会社である晋一化工股份有限公司において今後の事業拡大に向けた工業用地の取得や、四日市霞工場の建設完了等により、土地をはじめ有形固定資産が増加したことなどによるものです。

**負債:** 負債は第151期末と比べ10億47百万円増加し、393億12百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金は減少しましたが、短期借入金及び長期借入金が増加したことなどによるものです。

**純資産:** 純資産は第151期末と比べ5億89百万円増加し、267億45百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金は減少しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより利益剰余金が増加したことなどによるものです。また、自己資本比率は、第151期と比べ0.1ポイント改善し38.8%となりました。

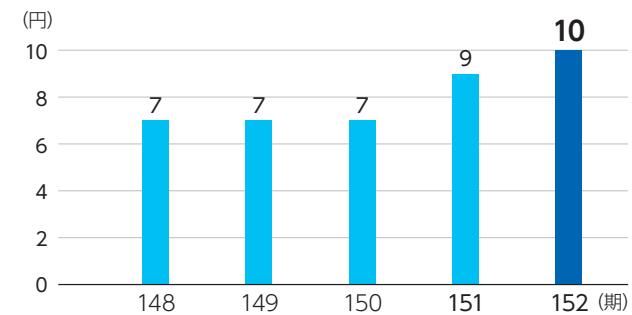
## ROE(自己資本当期純利益率)



## POINT ▼

**ROE:** ROEは第151期末と比べ0.5ポイント改善し、8.7%となりました。5か年経営計画「REACT1000-飛躍への行動を-」では、経営方針の一つとして「適切なROE水準の維持と向上」を掲げております。第156期には、ROE10%を目標に、ROEを意識した経営に努めます。

## 1株当たりの配当金



## POINT ▼

**配当金:** 期末の配当金につきましては、普通配当は1株当たり10円とさせていただきます。今後につきましては、収益創造の事業体質を定着化させ、長期的、安定的な配当を維持できることを目指して努力してまいります。

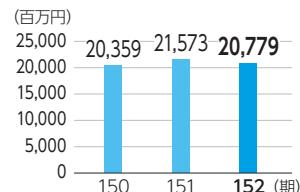
# 事業セグメントの概況

## 界面活性剤事業



売上高 **207億79百万円** 前年度比 **3.7%** ↓ 減

界面活性剤は、IT・電子用途は大幅に伸ばしましたが、ゴム・プラスチック用途や機械・金属用途がやや低迷したこと等により、総じてやや低迷しました。

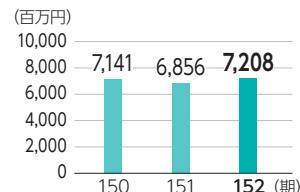


## アメニティ材料事業



売上高 **72億8百万円** 前年度比 **5.1%** ↑ 増

アメニティ材料は、医薬品用途が好調に推移したことや、海外で香粧品用途及び食品用途のシヨ糖脂肪酸エステルが順調に推移したこと等により、総じて伸ばしました。

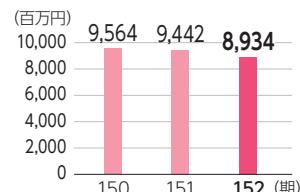


## ウレタン材料事業



売上高 **89億34百万円** 前年度比 **5.4%** ↓ 減

ウレタン材料は、環境配慮型の合成潤滑油は伸ばしましたが、土木用薬剤は公共工事の減少により、総じてやや低迷しました。

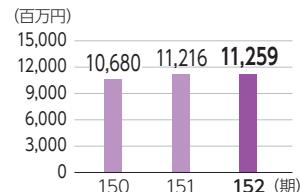


## 機能材料事業



売上高 **112億59百万円** 前年度比 **0.4%** ↑ 増

機能材料は、繊維用途の水系ウレタン樹脂が好調に推移したことや、IT・電子用途の光硬化樹脂用材料が大幅に伸ばしたこと等により、総じて堅調に推移しました。

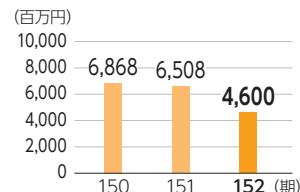


## 電子デバイス材料事業



売上高 **46億円** 前年度比 **29.3%** ↓ 減

電子デバイス材料は、射出成形用ペレットは伸ばしましたが、太陽電池用途の導電性ペーストが顕著に落ち込んだこと等により、総じて大きく落ち込みました。



# トピックス



## 界面活性剤事業

2016年  
3月10日  
発売

## 環境・健康にやさしい「水系塗料・粘着剤」の材料 反応性界面活性剤 **アクアロン AR**



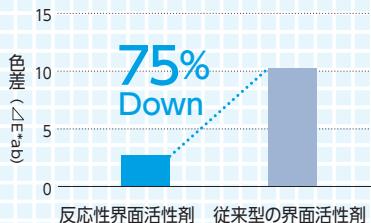
塗料、粘着材等の幅広い市場で、揮発性有機化合物 (VOC) 排出の原因となる有機溶剤を使用しない「水系」への置き換えが求められています。その課題解決に応える反応性界面活性剤「アクアロンシリーズ」に、この度、環境配慮機能をさらに高めた最新版「AR」をラインナップに加えました。

### アクアロンシリーズの特徴 (抜粋)

#### 特徴 1 優れた耐水性で 膨潤や白化を抑制

極めて耐水性に優れており、塗料や粘着剤が水分でふくらむ、白く変色する等がありません。

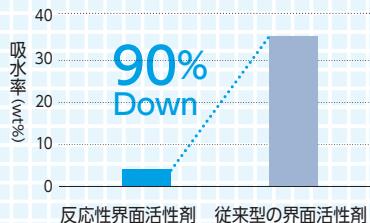
##### ・耐水白化性



#### 特徴 2 吸水率が低いので 雨や結露に強い

従来型の界面活性剤より吸水率が10分の1ほどと低く、雨水や結露に強い塗料・粘着剤が得られます。

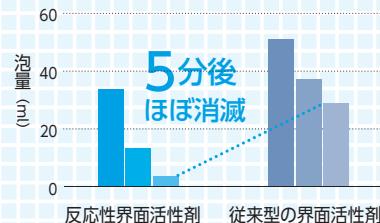
##### ・吸水率



#### 特徴 3 泡立ちが少なく 塗料の美観が向上

手振り実験の結果、5分後にはほぼ全ての泡が消えました。塗布する際の作業性や塗料の美観の向上が期待できます。

##### ・泡立ち



### ARシリーズは さらに!

低泡性や分散性がより向上するとともに、さらなる環境配慮性能を持っています。ARシリーズは、技術支援の一貫として海外にも発売し、市場拡大の足掛かりとしています。

## 第152期定時株主総会決議ご通知

平成28年6月24日開催の当社第152期定時株主総会において、下記のとおり報告と決議が行われましたので、ご通知申し上げます。

記

### 報告事項

1. 第152期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第152期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
- 本二件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり可決承認され、期末配当金は1株につき10円と決定いたしました。

#### 第2号議案 取締役12名選任の件

本件は、原案のとおり可決承認され、坂本隆司、松本和久、赤瀬宜伸、浦山 勇、藤岡敏式、大西英明、北田 明、祝迫浩一、中谷誠一、青木素直、秋本信幸、多々良裕志の12氏が取締役に選任され、就任いたしました。

#### 第3号議案 監査役3名選任の件

本件は、原案のとおり可決承認され、関口恒、井手秀彦、田中晴男の3氏が監査役に選任され、就任いたしました。  
なお、監査役総数は、在任中の西崎信一氏と合わせ4名となります。

#### 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり可決承認され、人西智之氏が補欠の社外監査役に選任されました。

#### 第5号議案 役員賞与支給の件

本件は、原案のとおり、当期末時点の取締役14名(うち社外取締役3名)及び監査役4名に対し、役員賞与と総額1,630万円(社外取締役を除く取締役分1,280万円、社外取締役分90万円、監査役分260万円)を支給することとし、各取締役及び各監査役に対する金額は、取締役に對しては取締役に、監査役については監査役の協議に一任することで可決承認されました。

株主総会終了後に開催の取締役会により、次のとおり選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役  
会長兼社長

坂本 隆 司

常務取締役

赤瀬 宜 伸

代表取締役  
専務取締役

松本 和 久

常務取締役

浦山 勇

また、監査役会の決議により、次のとおり常勤監査役に選定され、それぞれ就任いたしました。

常勤監査役

西崎 信 一

常勤監査役

関口 恒

以 上

# 会社概要・株式の状況 (平成28年3月31日現在)

## 会社概要

社名……………第一工業製菓株式会社  
 創業……………明治42年4月  
 創立……………大正7年8月  
 資本金……………88億9,520万円  
 従業員数……………495名(連結982名)  
 (平成28年3月31日現在)

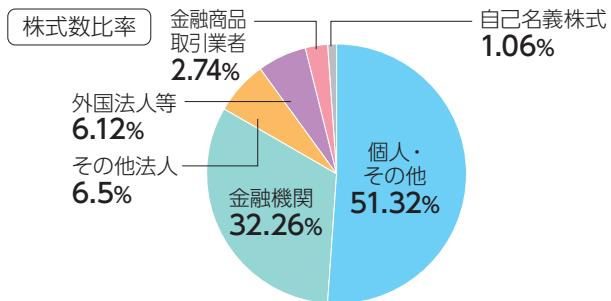
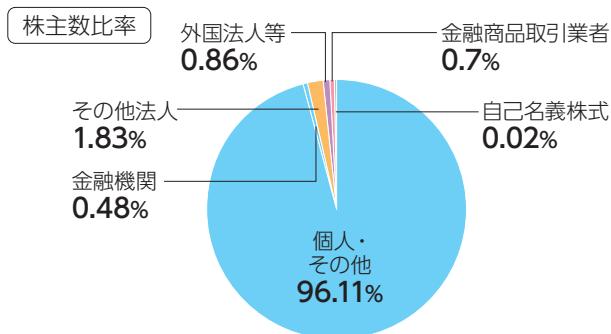
## 取締役、監査役、執行役員 (平成28年6月24日現在)

役職	氏名	役職	氏名
代表取締役 会長兼社長	坂本隆司	代表取締役 専務取締役	松本和久
常務取締役	赤瀬宣伸	常務取締役	浦山 勇
取締役	藤岡敏式	取締役	大西英明
取締役	北田 明	取締役	祝迫浩一
取締役	中谷誠一	取締役(社外取締役)	青木素直
取締役(社外取締役)	秋本信幸	取締役(社外取締役)	多々良裕志
常勤監査役	西崎信一	常勤監査役	関口 恒
監査役(社外監査役)	井手秀彦	監査役(社外監査役)	田中晴男
執行役員	岡本修身	執行役員	三浦宏之
執行役員	丹羽浩一	執行役員	橋本賀之
執行役員	山路直貴	執行役員	堂山利明
執行役員	木谷文彦	執行役員	首藤拓也
執行役員	清水幸治	執行役員	河村一二

## 事業所

- ・本店
- ・本社
- ・東京本社
- ・大阪支社
- ・名古屋支店
- ・九州支店
- ・研究所
- ・四日市事業所 千歳工場
- ・四日市事業所 霞工場
- ・大瀧事業所
- ・滋賀事業所

## 株主分布状況



## 大株主一覧(上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	3,067,000	5.74
山内 正義	2,395,000	4.48
株式会社みずほ銀行	2,135,000	4.00
株式会社京都銀行	2,085,000	3.90
朝日生命保険相互会社	1,697,000	3.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,417,000	2.65
DKS取引先持株会	1,241,000	2.32
第一工業製菓従業員持株会	1,240,700	2.32
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,144,998	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	843,000	1.58

## INFORMATION

### 四日市事業所霞工場(マザー工場)の見学会の実施

投資家様への新設備とDKS経営への理解の向上のため、2015年12月4日、投資家向けに霞工場見学会を開催しました。金融アナリストなど16名のみなさまに当社業容と霞工場について説明後、第一プラントなど見学していただき、会長の説明に対し投資家目線の熱心なご質問もありました。その後、バスで移動し、四日市合成、千歳工場の見学を実施しました。



霞工場見学会

## 株主メモ

創業年月	明治42年4月(1909年4月)
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
単元株式数	1,000株
発行済株式総数	53,421,609株 (平成28年3月31日現在)
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなり

### お問合せ先

ますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。  
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、みずほ証券(株)及びみずほ信託銀行(株)にてお取次いたします。

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
みずほ信託銀行(株) 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324  
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

### 未払配当金のお支払

みずほ信託銀行(株)及び(株)みずほ銀行の各本店及び全国各支店

### 上場取引所

東京証券取引所(証券コード4461)

## 第一工業製薬株式会社

〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5  
TEL 075-323-5911 FAX 075-326-7356  
<http://www.dks-web.co.jp>

環境・社会活動はホームページへ



<http://www.dks-web.jp/corporate/ecology.html>

UD  
FONT

